

～ サポーターのこころを結ぶ ～

# 認知症サポーターキャラバン情報紙

VOL.2



敬老の日を祝う高齢者への花のプレゼント制作風景（寿山校区）

## 2010. February Vol.2 Contents

- エフコープ生活協同組合の取り組み ..... P2
- 寿山校区社会福祉協議会の取り組み ..... P3
- 「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカー ..... P4
- 認知症サポーター養成講座受講状況等 ..... P4



北 九 州 市  
北九州市社会福祉協議会

# エフコープ生活協同組合の取り組み

— ともに生きともにつくるくらしと地域 —

エフコープは、福岡県下約 45 万人の組合員組織で、北九州市内に支所 6ヶ所、店舗 7ヶ所が存在し、市内のスタッフ 746 名、組合員約 122,000 名。

(2010 年 1 月時点)

スタッフは組合員・地域住民と日頃から関わりをもち、業務を行っています。



は、北九州市内で 15 回、スタッフ・組合員 364 名が認知症を理解した「認知症サポーター」となっています。

2010 年春には、北九州市内の 2 つの支所での受講が計画されていて、北九州市内全ての支所での受講を終える予定となっています。

## ■ 受講のきっかけ

厚生労働省が推奨する「認知症サポーター養成講座」は、認知症についての正しい知識をもち、誰もが暮らしやすい地域をつくる認知症サポーターを養成するために開催されています。

エフコープは「ともに生き、ともにつくる、くらしと地域」の理念のもと、この趣旨に賛同し、働くスタッフだけでなく、組合員に対しても積極的に受講に取り組んでいます。

なかでも、東支所（配達区域：戸畑・八幡東区）では、2006 年から「子ども 110 番」の取り組みを始め、地域での見守りを行っています。「認知症サポーター」が地域で広がっていることを知り、「地域を見守る」という視点から、エフコープで最初に養成講座を受講しました。

## ■ 受講後の取り組み

東支所の受講をきっかけに、北九州市内の事業所の受講へとつながり、現在では受講を証明する「認知症サポーターのいる店・事業所ステッカー」を、3 支所（東支所・小倉南支所・八幡西支所）の配達トラックに貼り、配達中も認知症サポーターとして活躍しています。

また、エフコープ店舗での受講も行い、スタッフによる来店者対応にもつながっています。

## ■ 認知症サポーターの現状

現在（2009 年 12 月末）までに、エフコープにて開催された「認知症サポーター養成講座」

## ■ 受講後の感想

受講者からは、「知っているのと知らないのでは大きな違いがあると思う。」や「自分の家族や近所の方へも心にゆとりを持って接することができるようになった。」「地域に出ている私たちがご近所と一緒にあって、認知症の人をサポートしたい。」などの声も届いています。

## ■ 今後について

働くスタッフだけでなく組合員にも、もっと広げるために、各地で開催し、まちの見守り役として活動を広めていくこととします。



配達トラックに貼っています！



「認知症サポーターのいる店・事業所」  
ステッカー



# 寿山校区社会福祉協議会

～住民主導の福祉の風土づくり～

寿山校区は、小倉北区のシンボルともいえる足立山山麓に位置し、自然豊かで名勝に恵まれた地域です。史跡や文化財も多く、古くからの住宅地でもあります。

11町内から成り、総世帯数は、約4,750世帯、人口は約9,000人、高齢化率は28%を越えています。

寿山校区社協（初野恭敬会長）の「ふれあいネットワーク事業」は、平成8年度から取り組みが開始され、福祉協力員が民生委員や老人会などと協力して見守り活動等を展開しています。

## まずは、認知症を正しく知ること!!

寿山校区社協が、認知症サポーター養成講座を開催するキッカケとなったのは、平成20年度に市・区社協が実施した「リフレッシュ&フレンドシップ事業」への参加でした。

視察先である若松区青葉台地区社協の取り組みを知り、高齢化率の高い寿山校区でも多くの住民が認知症を正しく理解する必要があると考え、講座を企画しました。

地域の活動者が、これまでに知らなかった認知症に関する知識や正しい理解を得ることで、日ごろの見守り活動や心配な方への声かけなどに役立てています。

秋に行われる寿山のまつりでは、地元高齢者施設と連携し、入所者をお招きして、認知症のある方でも気軽に参加できるような環境づくりに努めています。



平成21年11月8日 第9回 寿山の祭り



寿山市民センターでの認知症サポーター養成講座

また、12月の餅つき大会では、地域の高齢者や子どもたち、障害のある人なども参加し、世代間の交流を深めて楽しいひと時を過ごしました。

福祉協力員らが呼びかけて開催する「ふれあい昼食会」では、毎月50人程度が参加し、健康講座や体操、レクリエーションなども併せながら、高齢者の引きこもり防止や認知症予防に励んでいます。



今後も多くの住民へ、認知症に対する正しい理解を広め、ふれあいネットワーク事業を通じて、地域で認知症のある人やその家族を支えていき、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていきます。

「まずは、みんなが知ることから」

寿山校区社協会長 初野 恭敬



◆ 福祉にやさしいお店・事業所

「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカー

この「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカーは、認知症サポーターキャラバン事務局（運営：市社協）が実施する「認知症サポーター養成講座」受講店・事業所等に交付され、認知症にやさしい街づくりに役立っています。

あなたのお店や事業でも、企業の社会貢献や社員教育の一環として、受講されてはいかがでしょうか。

＜お問い合わせ先＞

下記、「認知症サポーターキャラバン事務局」まで



## 北九州市の認知症サポーター 18,132人 (H22. 1月末現在)

### 最近の「認知症サポーター養成講座」受講団体

- 福岡県理容生活衛生同業組合
- 北九州おかみさんの会
- 清水小学校 成人人権委員会
- 北九州市食生活改善推進員協議会
- トヨタカローラ博多株式会社
- 各区健康づくり推進員(小倉北・若松・八幡東区)



### 認知症サポーター養成講座を広める「社会福祉協議会」

社会福祉協議会は、  
「みんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」  
を目指し、地域福祉の理解を広めています。

高齢者、障害のある人、子ども、地域で暮らしている一人ひとりのだれもが、住み慣れたまちで穏やかに暮らしていくためには、日常生活上の問題解決に向けて動き出せるよう、同じ地域に暮らす者として共感し、さまざまな問題や課題を分かち合う地域づくりを行うことが必要です。

そのために、北九州市社会福祉協議会は、地域福祉に対する理解を深めるとともに、一人でも多くの市民が、福祉に関心を高めることができる取り組みの一つとして、北九州市より「認知症サポーターキャラバン事業」を受託し、福祉の風土づくりを進めています。

この情報紙は、認知症サポーターの活動や活動機会の紹介を主な目的としております。  
活動事例等の情報がありましたら、ぜひ、お寄せください!!

## 北九州市認知症サポーターキャラバン事務局 (運営：社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会)

〒804-0067 北九州市 戸畑区 汐井町1番6号 ウェルとばた8F  
担当：福祉部 地域福祉課 TEL. 093-873-1296 FAX. 093-873-1351